

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 永田川水系永田川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	永田川水系永田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する永田水系永田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県鹿児島市清和 3 丁目～鹿児島市山田町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3100m3	8600m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	4300m3	4300m3		
	令和 9 年度	4300m3	0m3		
	令和 1 0 年度	0m3	0m3		
	令和 1 1 年度	0m3	0m3		
	計	11700m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	107, 000	107, 000	0	
	令和 8 年度	150, 000	150, 000	0	
	令和 9 年度	150, 000	150, 000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	407, 000	407, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・永田水系永田川は鹿児島市に位置し流路延長16.1kmの2級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・永田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和7年度現在、河道内の土砂堆積量は11.7千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和7年度～令和9年度の3年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ11.7千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等: 出水期後 (10月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 甲突川水系甲突川（２級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	甲突川水系甲突川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する甲突川水系甲突川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県鹿児島市草牟田～鹿児島市新屋敷 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（３年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3100m3	8000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	4000m3	4000m3		
	令和 9 年度	4000m3	0m3		
	令和 1 0 年度	0m3	0m3		
	令和 1 1 年度	0m3	0m3		
	計	11100m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	77,000	77,000	0	
	令和 8 年度	100,000	100,000	0	
	令和 9 年度	100,000	100,000	0	
	令和 1 0 年度	0	0	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	277,000	277,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 甲突川水系甲突川は鹿児島市に位置し流路延長 2 1. 5 kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 甲突川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 1. 1 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 1. 1 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・ 施設点検等：出水期後（10月） ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 新川水系新川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	新川水系新川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する新川水系新川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県鹿児島市西別府町～鹿児島市西別府町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	400m3		1000m3	
	令和 8 年度	500m3		500m3	
	令和 9 年度	500m3		0m3	
	令和 1 0 年度	0m3		0m3	
	令和 1 1 年度	0m3		0m3	
	計	1400m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	13, 000	13, 000	0	
	令和 8 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 9 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 0 年度	0	0	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	43, 000	43, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・新川水系新川は鹿児島市に位置し流路延長 1 2. 5 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・新川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 思川水系本名川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	思川水系本名川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する思川水系本名川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県鹿児島市本名町～鹿児島市本名町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	500m3	2000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	500m3	1500m3		
	令和 9 年度	500m3	1000m3		
	令和 1 0 年度	500m3	500m3		
	令和 1 1 年度	500m3	0m3		
	計	2500m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	21, 000	21, 000	0	
	令和 8 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 9 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 0 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 1 年度	20, 000	20, 000	0	
	計	101, 000	101, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 思川水系本名川は鹿児島市に位置し流路延長10. 0kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 本名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 2. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視: 出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・ 施設点検等: 出水期後 (10月) ・ 測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 和田川水系木之下川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	和田川水系木之下川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する和田川水系木之下川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県鹿児島市谷山中央～鹿児島市谷山中央 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	400m3		1200m3	
	令和 8 年度	300m3		900m3	
	令和 9 年度	300m3		600m3	
	令和 1 0 年度	300m3		300m3	
	令和 1 1 年度	300m3		0m3	
	計	1600m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	56, 000	56, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 和田川水系木之下川は鹿児島市に位置し流路延長2. 2kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 木之下川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・ 測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 貝底川水系貝底川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	貝底川水系貝底川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する貝底川水系貝底川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県鹿児島市喜入町前ヶ浜～鹿児島市喜入町前ヶ浜 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	200m3	800m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	200m3	600m3		
	令和 9 年度	200m3	400m3		
	令和 1 0 年度	200m3	200m3		
	令和 1 1 年度	200m3	0m3		
	計	1000m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	40,000	40,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・貝底川水系貝底川は鹿児島市に位置し流路延長2.3kmの2級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・貝底川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和7年度現在、河道内の土砂堆積量は1.0千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和7年度～令和11年度の5年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ1.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等: 出水期後 (10月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 神之川水系上谷口川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	神之川水系上谷口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する神之川水系上谷口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県鹿児島市上谷口町～鹿児島市上谷口町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	200m3	800m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	200m3	600m3		
	令和 9 年度	200m3	400m3		
	令和 1 0 年度	200m3	200m3		
	令和 1 1 年度	200m3	0m3		
	計	1000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	40,000	40,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・神之川水系上谷口川は鹿児島市に位置し流路延長2.0kmの2級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・上谷口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和7年度現在、河道内の土砂堆積量は1.0千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和7年度～令和11年度の5年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ1.0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 伊作川水系湯之浦川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	伊作川水系湯之浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する伊作川水系湯之浦川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県日置市吹上町市中之里～日置市吹上町市中之里 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度 (2 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	1000m3	第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1000m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	2000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・伊作川水系湯之浦川は日置市に位置し流路延長 2. 9 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・湯之浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 伊作川水系伊作川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	伊作川水系伊作川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する伊作川水系伊作川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県日置市吹上町中原～日置市吹上町中原 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度 (2 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3		1200m3	
	令和 8 年度	1200m3		0m3	
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	2400m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・伊作川水系伊作川は日置市に位置し流路延長 8. 1 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・伊作川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水期中 (随時), 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 神之川水系下谷口川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	神之川水系下谷口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する神之川水系下谷口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県日置市伊集院町下谷口～日置市伊集院町下谷口 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	8,000	8,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・神之川水系下谷口川は日置市に位置し流路延長 6. 6 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・下谷口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 神之川水系長松川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	神之川水系長松川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する神之川水系長松川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県日置市伊集院町土橋地先～日置市伊集院町土橋地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度 (2 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1800m3		1800m3	
	令和 8 年度	1800m3		0m3	
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3600m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16,000	16,000	0	
	令和 8 年度	15,000	15,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	31,000	31,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・神之川水系長松川は日置市に位置し流路延長 7. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・長松川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 五反田川水系五反田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	五反田川水系五反田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する五反田川水系五反田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県いちき串木野市生福～いちき串木野市生福 ほか 4 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度 (2 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	9000m3	3000m3		
	令和 8 年度	3000m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	12000m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	57,000	57,000	0	
	令和 8 年度	17,000	17,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	74,000	74,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・五反田川水系五反田川はいちき串木野市に位置し流路延長 1 3 . 7 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・五反田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 2 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 2 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水期中 (随時), 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大川水系山之口川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大川水系山之口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大川水系山之口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県日置市日吉町吉利～日置市日吉町吉利 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	600m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	600m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大川水系山之口川は日置市に位置し流路延長 1. 4 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・山之口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 6 km3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 6 km3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大川水系森護川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大川水系森護川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大川水系森護川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県日置市日吉町吉利～日置市日吉町吉利 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1400m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1400m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大川水系森護川は日置市に位置し流路延長 1. 9 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・森護川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大里川水系大里川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大里川水系大里川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大里川水系大里川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県日置市東市来町養母～日置市東市来町養母 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	900m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	900m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大里川水系大里川は日置市に位置し流路延長 1 9 . 6 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大里川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0 . 9 千 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0 . 9 千 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 江口川水系江口川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	江口川水系江口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する江口川水系江口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県日置市東市来町長里～日置市東市来町長里 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（ 1 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・江口川水系江口川は日置市に位置し流路延長 1 3 . 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・江口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0 . 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、 0 . 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 永吉川水系太田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	永吉川水系太田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する永吉川水系太田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県日置市吹上町永吉～日置市吹上町永吉 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1200m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・永吉川水系太田川は日置市に位置し流路延長 1. 8 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・太田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 2 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 2 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 二反田川水系二反田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名		二反田川水系二反田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))		鹿児島県が管理する二反田川水系二反田川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県指宿市十町～鹿児島県指宿市東方 【別図参照】			
実施予定期間		令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分 第3種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書きで記載				残量	
		令和 7 年度	400m3 (8, 000m2)	1600m3	
		令和 8 年度	400m3 (8, 000m2)	1200m3	
		令和 9 年度	400m3 (8, 000m2)	800m3	
		令和 1 0 年度	400m3 (8, 000m2)	400m3	
		令和 1 1 年度	400m3 (7, 300m2)	0m3	
		計	2, 000m3 (39, 300m2)		
予定事業費 (単位：千円)			事業費	地方債	一般財源
		令和 7 年度	6, 000	6, 000	0
		令和 8 年度	6, 000	6, 000	0
		令和 9 年度	6, 000	6, 000	0
		令和 1 0 年度	6, 000	6, 000	0
		令和 1 1 年度	6, 000	6, 000	0
		計	30, 000	30, 000	0
事業の必要性、 緊急性		・二反田川水系二反田川は指宿市に位置し流路延長 4. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・二反田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積及び樹木繁茂により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 0 千 m3 あり、河川断面を阻害している植生が 3 9. 3 千 m2 あることから、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標		・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 2. 0 千 m3 の堆積土砂掘削及び 3 9. 3 千 m2 の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握		・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載		・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。			

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 湊川水系湊川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名		湊川水系湊川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)		鹿児島県が管理する湊川水系湊川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県指宿市宮ヶ浜～鹿児島県指宿市新西方 【別図参照】			
実施予定期間		令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書きで記載				残量	
		令和 7 年度	300m3 (5, 000m2)	1200m3	
		令和 8 年度	300m3 (5, 000m2)	900m3	
		令和 9 年度	300m3 (5, 000m2)	600m3	
		令和 1 0 年度	300m3 (5, 000m2)	300m3	
		令和 1 1 年度	300m3 (4, 780m2)	0m3	
		計	1, 500m3 (24, 780m2)		
予定事業費 (単位：千円)			事業費	地方債	一般財源
		令和 7 年度	5, 000	5, 000	0
		令和 8 年度	5, 000	5, 000	0
		令和 9 年度	5, 000	5, 000	0
		令和 1 0 年度	5, 000	5, 000	0
		令和 1 1 年度	5, 000	5, 000	0
		計	25, 000	25, 000	0
事業の必要性、 緊急性		・ 湊川水系湊川は指宿市に位置し流路延長 8. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 湊川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積及び樹木繁茂により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3 あり、河川断面を阻害している植生が 2 4. 8 千 m2 あることから、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標		・ 令和 7 年度～令和 11 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千 m3 の堆積土砂掘削及び 2 4. 8 千 m2 の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握		・ 基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・ 施設点検等：出水期後（10 月） ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載		・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。			

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）						
都 道 府 県 名 鹿児島県						
河 川 名 新川水系新川（二級河川）						
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方						
連 絡 先 099-286-3593						
事業名		新川水系新川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)		鹿児島県が管理する新川水系新川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県指宿市開聞川尻～鹿児島県指宿市開聞仙田 【別図参照】				
実施予定期間		令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）			土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書きで記載				残量		
		令和 7 年度	200m3 (6, 500m2)	800m3	第3種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。	
		令和 8 年度	200m3 (6, 500m2)	600m3		
		令和 9 年度	200m3 (6, 500m2)	400m3		
		令和 1 0 年度	200m3 (6, 500m2)	200m3		
		令和 1 1 年度	200m3 (7, 360m2)	0m3		
		計	1, 000m3 (33, 360m2)			
予定事業費 (単位：千円)			事業費	地方債	一般財源	
		令和 7 年度	4, 000	4, 000	0	
		令和 8 年度	4, 000	4, 000	0	
		令和 9 年度	4, 000	4, 000	0	
		令和 1 0 年度	4, 000	4, 000	0	
		令和 1 1 年度	4, 000	4, 000	0	
		計	20, 000	20, 000	0	
事業の必要性、 緊急性		・新川水系新川は指宿市に位置し流路延長 5. 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・新川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積及び樹木繁茂により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千m3あり、河川断面を阻害している植生が 3 3. 4 千m2あることから、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標		・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ1. 0千m3の堆積土砂掘削及び 3 3. 4 千m2の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握		・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載		・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)						
都 道 府 県 名 鹿児島県						
河 川 名 新川水系宮田川 (二級河川)						
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方						
連 絡 先 099-286-3593						
事業名		新川水系宮田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))		鹿児島県が管理する新川水系宮田川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県指宿市開聞仙田～鹿児島県指宿市開聞仙田 【別図参照】				
実施予定期間		令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2) 書きで記載				残量		
		令和 7 年度	160m3 (4, 000m2)	640m3	第3種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。	
		令和 8 年度	160m3 (4, 000m2)	480m3		
		令和 9 年度	160m3 (4, 000m2)	320m3		
		令和 1 0 年度	160m3 (4, 000m2)	160m3		
		令和 1 1 年度	160m3 (4, 700m2)	0m3		
		計	800m3 (20, 700m2)			
予定事業費 (単位：千円)			事業費	地方債	一般財源	
		令和 7 年度	6, 000	6, 000	0	
		令和 8 年度	6, 000	6, 000	0	
		令和 9 年度	6, 000	6, 000	0	
		令和 1 0 年度	6, 000	6, 000	0	
		令和 1 1 年度	6, 000	6, 000	0	
		計	30, 000	30, 000	0	
事業の必要性、 緊急性		・新川水系宮田川は指宿市に位置し流路延長 3. 4 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・宮田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積及び樹木繁茂により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 8 千 m3 あり、河川断面を阻害している植生が 2 0. 7 千 m2 あることから、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標		・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 8 千 m3 の堆積土砂掘削及び 2 0. 7 千 m2 の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握		・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載		・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大浦川水系大浦川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大浦川水系大浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する大浦川水系大浦川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市大浦町木連口 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	5000m3	5000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	5000m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	10000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	10,000	10,000	0	
	令和 8 年度	10,000	10,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	20,000	20,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大浦川水系大浦川は南さつま市に位置し流路延長 7. 6 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 花渡川水系花渡川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	花渡川水系花渡川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する花渡川水系花渡川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県枕崎市桜木 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2500m3	0m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	2500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・花渡川水系花渡川は枕崎市に位置し流路延長 1 2. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・花渡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系長谷川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系長谷川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系長谷川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市金峰町白川 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	750m3	1250m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1250m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	2000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4, 000	4, 000	0	
	令和 8 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10, 000	10, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系長谷川は南さつま市に位置し流路延長 6. 5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・長谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 馬渡川水系馬渡川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	馬渡川水系馬渡川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する馬渡川水系馬渡川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南九州市顚娃町御領 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	0m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,000	4,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	4,000	4,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・馬渡川水系馬渡川は南九州市に位置し流路延長 6. 5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・馬渡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系万之瀬川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系万之瀬川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系万之瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南九州市川辺町平山 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	7500m3	7500m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	7500m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	15000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	32,000	32,000	0	
	令和 8 年度	32,000	32,000	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	64,000	64,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系万之瀬川は南さつま市及び南九州市に位置し流路延長 2 7 . 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・万之瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 5 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 5 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系野崎川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系野崎川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系野崎川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南九州市川辺町野崎 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（1 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	4500m3	0m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	4500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	19,000	19,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	19,000	19,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系野崎川は南九州市に位置し流路延長 4. 6 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・野崎川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系加世田川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系加世田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系加世田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市加世田津貫 ほか 4 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 8 年度（2 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	14200m3	8900m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	8900m3	0m3		
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	23100m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	63, 000	63, 000	0	
	令和 8 年度	32, 600	32, 600	0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	95, 600	95, 600	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系加世田川は南さつま市に位置し流路延長 1 3. 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・加世田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 3. 1 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 8 年度の 2 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2 3. 1 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系大谷川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系大谷川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系大谷川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市加世田川畑 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3	2700m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1200m3	1500m3		
	令和 9 年度	1500m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3900m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4, 800	4, 800	0	
	令和 8 年度	4, 800	4, 800	0	
	令和 9 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	15, 600	15, 600	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系大谷川は南さつま市に位置し流路延長 1 4 . 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 . 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3 . 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 笠石川水系笠石川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	笠石川水系笠石川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する笠石川水系笠石川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市笠沙赤生木 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1050m3	900m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	450m3	450m3		
	令和 9 年度	450m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1950m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,000	4,000	0	
	令和 8 年度	3,000	3,000	0	
	令和 9 年度	3,000	3,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・笠石川水系笠石川は南さつま市に位置し流路延長 4. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・笠石川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 9 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 9 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系境川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系境川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系境川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市金峰町中津野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	3250m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	1750m3		
	令和 9 年度	1750m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	4750m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6,000	6,000	0	
	令和 8 年度	6,000	6,000	0	
	令和 9 年度	7,000	7,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	19,000	19,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系境川は南さつま市に位置し流路延長 5. 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・境川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 7 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 7 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
				都 道 府 県 名 鹿児島県	
				河 川 名 万之瀬川水系岸元川 (二級河川)	
				担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方	
				連 絡 先 099-286-3593	
事業名	万之瀬川水系岸元川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する万之瀬川水系岸元川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市金峰町中津野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載				残量	
	令和 7 年度	1600m3		0m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1600m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,200	5,200	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,200	5,200	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系岸元川は南さつま市に位置し流路延長 2. 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・岸元川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1~2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万之瀬川水系堀川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万之瀬川水系堀川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万之瀬川水系堀川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県南さつま市金峰町大野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3	2800m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1200m3	1600m3		
	令和 9 年度	1600m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	4000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	6,000	6,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	16,000	16,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万之瀬川水系堀川は南さつま市に位置し流路延長 9. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・堀川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 原田川水系原田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	原田川水系原田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する原田川水系原田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市湯島町～薩摩川内市湯島町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	10,000	10,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・原田川水系原田川は薩摩川内市に位置し流路延長 7. 4 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・原田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系樋脇川（一級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系樋脇川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する川内川水系樋脇川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市樋脇町塔之原(1)～薩摩川内市樋脇町塔之原(1) 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（ 1 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	21,000	21,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	21,000	21,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系樋脇川は薩摩川内市に位置し流路延長 2 2. 9 km の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・樋脇川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 3 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系前川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系前川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系前川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩郡さつま町求名～薩摩郡さつま町求名 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系前川は薩摩川内市に位置し流路延長 1 0 . 5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・前川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 . 5 千 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 . 5 千 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系求名川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系求名川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系求名川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩郡さつま町求名～薩摩郡さつま町求名 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	900m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	900m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6,000	6,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	6,000	6,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系求名川は薩摩川内市に位置し流路延長 3. 5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・求名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系八間川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系八間川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系八間川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県薩摩川内市高江町～薩摩川内市高江町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	800m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	800m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系八間川は薩摩川内市に位置し流路延長 1. 4 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・八間川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 8 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 8 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水中 (随時)、出水期後 (1~2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系新川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系新川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系新川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市高江町～薩摩川内市高江町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系新川は薩摩川内市に位置し流路延長 2. 5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・新川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 原田川水系網津川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	原田川水系網津川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する原田川水系網津川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市港町～薩摩川内市港町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・原田川水系網津川は薩摩川内市に位置し流路延長 4. 3 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・網津川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系市比野川（一級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系市比野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する川内川水系市比野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市樋脇町市比野～薩摩川内市樋脇町市比野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（１年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	21,000	21,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	21,000	21,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系市比野川は薩摩川内市に位置し流路延長 1 1. 7 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・市比野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 3 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系久富木川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系久富木川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系久富木川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市祁答院町上手～薩摩川内市祁答院町上手 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系久富木川は薩摩川内市に位置し流路延長 1 6 . 8 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・久富木川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 . 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 . 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 草道川水系草道川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	草道川水系草道川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する草道川水系草道川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市水引町～薩摩川内市水引町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・草道川水系草道川は薩摩川内市に位置し流路延長 4. 7 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・草道川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系高城川（一級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系高城川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する川内川水系高城川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市高城町～薩摩川内市高城町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（１年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系高城川は薩摩川内市に位置し流路延長 1 8. 4 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・高城川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系三堂川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系三堂川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系三堂川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市天辰町～薩摩川内市天辰町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系三堂川は薩摩川内市に位置し流路延長 1. 0 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・三堂川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系山田川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系山田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系山田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市東郷町～薩摩川内市東郷町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	600m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	600m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,000	4,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	4,000	4,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系山田川は薩摩川内市に位置し流路延長 8. 5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・山田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系田海川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系田海川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系田海川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県薩摩川内市東郷町斧淵～薩摩川内市東郷町斧淵 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	4500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	4500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	32, 000	32, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	32, 000	32, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系田海川は薩摩川内市に位置し流路延長 1 1 . 8 km の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・田海川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4 . 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 4 . 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 高尾野川水系高尾野川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	高尾野川水系高尾野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する高尾野川水系高尾野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県出水市高尾野町下水流～出水市高尾野町松ヶ野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	4000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	12000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	19, 000	19, 000	0	
	令和 8 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	60, 000	60, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・高尾野川水系高尾野川は出水市に位置し流路延長 1 4. 4 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・高尾野川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 2. 0 千 m ³ であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 2. 0 千 m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 高松川水系高松川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	高松川水系高松川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する高松川水系高松川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県阿久根市波留～阿久根市鶴川内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	4000m3	10000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	3000m3	7000m3		
	令和 9 年度	3000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	14000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	19, 000	19, 000	0	
	令和 8 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 9 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	9, 000	9, 000	0	
	計	70, 000	70, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・高松川水系高松川は阿久根市に位置し流路延長 1 4 . 5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・高松川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 4 . 0 千 m ³ であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 4 . 0 千 m ³ の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 折口川水系内田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	折口川水系内田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する折口川水系内田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県阿久根市多田～阿久根市鶴川内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	300m3	700m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	0m3	700m3		
	令和 9 年度	0m3	700m3		
	令和 1 0 年度	300m3	400m3		
	令和 1 1 年度	400m3	0m3		
	計	1000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3, 000	3, 000	0	
	令和 8 年度	0	0	0	
	令和 9 年度	0	0	0	
	令和 1 0 年度	3, 000	3, 000	0	
	令和 1 1 年度	4, 000	4, 000	0	
	計	10, 000	10, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・折口川水系内田川は阿久根市に位置し流路延長 2. 9 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・内田川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等：出水期後 (10月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 米之津川水系米之津川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	米之津川水系米之津川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する米之津川水系米之津川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県出水市大川内～出水市米ノ津 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 9 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 1 0 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 1 1 年度	16, 000	16, 000	0	
	計	80, 000	80, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・米之津川水系米之津川は出水市に位置し流路延長 1 9 . 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・米之津川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 米之津川水系鍋野川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	米之津川水系鍋野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する米之津川水系鍋野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県出水市武本地先～出水市武本地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	6000m3	第2種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1000m3	5000m3		
	令和 9 年度	1500m3	3500m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	7000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	7,000	7,000	0	
	令和 1 0 年度	7,000	7,000	0	
	令和 1 1 年度	10,000	10,000	0	
	計	34,000	34,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・米之津川水系鍋野川は出水市に位置し流路延長 3. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・鍋野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 高尾野川水系野田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	高尾野川水系野田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する高尾野川水系野田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県出水市高尾野町江内～出水市野田町町上名 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 9 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 0 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 1 年度	11, 000	11, 000	0	
	計	55, 000	55, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・高尾野川水系野田川は出水市に位置し流路延長 1 4 . 4 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・野田川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 江内川水系江内川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	江内川水系江内川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する江内川水系江内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所: 鹿児島県出水市高尾野町江内～出水市高尾野町江内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 9 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 0 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 1 年度	11, 000	11, 000	0	
	計	55, 000	55, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 江内川水系江内川は出水市に位置し流路延長 4. 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 江内川は、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視: 出水期中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・ 施設点検等: 出水期後 (10月) ・ 測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 汐見川水系汐見川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	汐見川水系汐見川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する汐見川水系汐見川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県出水郡長島町下山門野～長島町山門野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	(5, 000m2)	1000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	0m3	1000m3		
	令和 9 年度	0m3	1000m3		
	令和 1 0 年度	500m3	500m3		
	令和 1 1 年度	500m3	0m3		
	計	1000 (5000m2)	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3, 000	3, 000	0	
	令和 8 年度	0	0	0	
	令和 9 年度	0	0	0	
	令和 1 0 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 1 年度	5, 000	5, 000	0	
	計	13, 000	13, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 汐見川水系汐見川は長島町に位置し流路延長 8. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 汐見川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積及び樹木繁茂により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千 m3、樹木伐採量は 5. 0 千 m ² であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 0 千 m3 の堆積土砂掘削及び 5. 0 千 m2 の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・ 測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 長川水系長川 (2級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	長川水系長川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する長川水系長川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県薩摩川内市下甕町手打～鹿児島県薩摩川内市下甕町手打 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	200m3	800m3		
	令和 8 年度	200m3	600m3		
	令和 9 年度	200m3	400m3		
	令和 1 0 年度	200m3	200m3		
	令和 1 1 年度	200m3	0m3		
	計	1000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 8 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 9 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 0 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 1 年度	5, 000	5, 000	0	
	計	25, 000	25, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・長川水系長川は薩摩川内市下甕町手打地内に位置し流路延長 1. 1 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・長川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 浜田川水系浜田川 (2級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	浜田川水系浜田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する浜田川水系浜田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県薩摩川内市下甕町片野浦～鹿児島県薩摩川内市下甕町片野浦 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	300m3		1200m3	
	令和 8 年度	300m3		900m3	
	令和 9 年度	300m3		600m3	
	令和 1 0 年度	300m3		300m3	
	令和 1 1 年度	300m3		0m3	
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 0 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 1 年度	5,000	5,000	0	
	計	25,000	25,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 浜田川水系浜田川は薩摩川内市下甕町片野浦地内に位置し流路延長 1. 1 kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 浜田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・ 測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系天降川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系天降川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する天降川水系天降川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市国分野口～霧島市国分野口 ほか 3 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	8000m3	44270m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	11000m3	33270m3		
	令和 9 年度	12000m3	21270m3		
	令和 1 0 年度	12000m3	9270m3		
	令和 1 1 年度	9270m3	0m3		
	計	52270m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	62, 000	62, 000	0	
	令和 8 年度	85, 000	85, 000	0	
	令和 9 年度	93, 000	93, 000	0	
	令和 1 0 年度	93, 000	93, 000	0	
	令和 1 1 年度	72, 000	72, 000	0	
	計	405, 000	405, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系天降川は霧島市に位置し流路延長 4 1. 0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・天降川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5 2. 3 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5 2. 3 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 別府川水系別府川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	別府川水系別府川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する別府川水系別府川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県姶良市蒲生町上久徳～姶良市蒲生町上久徳 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 0 年度（ 4 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		9420m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	3000m3		6420m3	
	令和 9 年度	3000m3		3420m3	
	令和 1 0 年度	3420m3		0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	12420m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	17, 000	17, 000	0	
	令和 8 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 9 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 1 0 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	69, 000	69, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・別府川水系別府川は姶良市に位置し流路延長 2 1. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・別府川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 2. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 0 年度の 4 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 2. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 別府川水系前郷川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	別府川水系前郷川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する別府川水系前郷川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県姶良市蒲生町白男地先～姶良市蒲生町上久徳地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 0 年度 (4 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3	8400m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	3000m3	5400m3		
	令和 9 年度	3000m3	2400m3		
	令和 1 0 年度	2400m3	0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	11400m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	32, 000	32, 000	0	
	令和 8 年度	30, 000	30, 000	0	
	令和 9 年度	30, 000	30, 000	0	
	令和 1 0 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	112, 000	112, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・別府川水系前郷川は姶良市に位置し流路延長 2 1. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・前郷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 1. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 0 年度の 4 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 1. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系丸池川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系丸池川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系丸池川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県姶良郡湧水町米永～姶良郡湧水町米永地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	650m3		0m3	
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	650m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,000	4,000	0	
	令和 8 年度	0	0	0	
	令和 9 年度	0	0	0	
	令和 1 0 年度	0	0	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	4,000	4,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系別府丸池川は姶良郡湧水町に位置し流路延長 0. 8 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・丸池川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 7 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 7 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 別府川水系田平川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	別府川水系田平川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する別府川水系田平川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県姶良市蒲生町北地内～姶良市蒲生町北地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3		0m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	2000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	10,000	10,000	0	
	令和 8 年度	0	0	0	
	令和 9 年度	0	0	0	
	令和 1 0 年度	0	0	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・別府川水系田平川は姶良市に位置し流路延長 1. 5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・田平川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系霧島川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系霧島川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する天降川水系霧島川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市霧島町大窪地内～霧島市霧島町大窪地内 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3		0m3	
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	2000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	13,000	13,000	0	
	令和 8 年度	0	0	0	
	令和 9 年度	0	0	0	
	令和 1 0 年度	0	0	0	
	令和 1 1 年度	0	0	0	
	計	13,000	13,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系霧島川は霧島市に位置し流路延長 2 3 . 4 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・霧島川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系郡田川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系郡田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する天降川水系郡田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市国分郡田地内～霧島市国分郡田地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3	35693m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	8500m3	27193m3		
	令和 9 年度	9000m3	18193m3		
	令和 1 0 年度	9000m3	9193m3		
	令和 1 1 年度	9193m3	0m3		
	計	38693m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	12, 000	12, 000	0	
	令和 8 年度	30, 000	30, 000	0	
	令和 9 年度	30, 000	30, 000	0	
	令和 1 0 年度	30, 000	30, 000	0	
	令和 1 1 年度	35, 000	35, 000	0	
	計	137, 000	137, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系郡田川は霧島市に位置し流路延長 1 4. 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・郡田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 8. 7 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3 8. 7 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系手籠川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系手籠川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する天降川水系手籠川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市国分重久地内～霧島市国分重久地内 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 0 年度（ 4 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		33150m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	9500m3		23650m3	
	令和 9 年度	11500m3		12150m3	
	令和 1 0 年度	12150m3		0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	36150m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16,000	16,000	0	
	令和 8 年度	40,000	40,000	0	
	令和 9 年度	50,000	50,000	0	
	令和 1 0 年度	50,000	50,000	0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	156,000	156,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系手籠川は霧島市に位置し流路延長 1 3 . 8 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・手籠川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 6 . 2 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 0 年度の 4 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3 6 . 2 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系久留味川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系久留味川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する天降川水系久留味川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市横川町下ノ地内～霧島市横川町下ノ地内 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3		0m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	1000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	8,000	8,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系久留味川は霧島市に位置し流路延長 1 7 . 3 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・久留味川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 . 0 km3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 . 0 km3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系万膳川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系万膳川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する天降川水系万膳川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市牧園町万膳地内～霧島市牧園町万膳地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	7370m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	5370m3		
	令和 9 年度	2200m3	3170m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	1170m3		
	令和 1 1 年度	1170m3	0m3		
	計	8370m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	7, 000	7, 000	0	
	令和 8 年度	14, 000	14, 000	0	
	令和 9 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 1 0 年度	14, 000	14, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	61, 000	61, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系万膳川は霧島市に位置し流路延長 6. 8 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・万膳川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8. 4 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、8. 4 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 天降川水系中津川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	天降川水系中津川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する天降川水系中津川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市牧園町上中津川地内～霧島市牧園町上中津川地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（ 1 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3		0m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	1000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・天降川水系中津川は霧島市に位置し流路延長 1 7 . 7 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・中津川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 . 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 . 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系桶寄川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系桶寄川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系桶寄川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県姶良郡湧水町川添地内～姶良郡湧水町川添地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	400m3		0m3	
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	400m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3, 000	3, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	3, 000	3, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系桶寄川は霧島市に位置し流路延長 1. 6 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・桶寄川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 4 千 m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 4 千 m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 高橋川水系高橋川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	高橋川水系高橋川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する高橋川水系高橋川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県霧島市福山町上ノ段地内～霧島市福山町上ノ段地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3		0m3	
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	1000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	5,000	5,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・高橋川水系高橋川は霧島市に位置し流路延長 7. 2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・高橋川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系平出水川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系平出水川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系平出水川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県伊佐市大口鳥巢地先～伊佐市大口測辺地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3000m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	27, 000	27, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	27, 000	27, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系平出水川は伊佐市に位置し流路延長 7. 2 km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・平出水川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3. 0 km3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3. 0 km3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水期中 (随時), 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系羽月川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系羽月川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系羽月川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県伊佐市大口鳥巢地先～伊佐市大口荒平地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2800m3	5600m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2800m3	2800m3		
	令和 9 年度	2800m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	8400m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	33,000	33,000	0	
	令和 8 年度	33,000	33,000	0	
	令和 9 年度	33,000	33,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	99,000	99,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系羽月川は伊佐市に位置し流路延長 9.7 km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・羽月川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8.4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、8.4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系川間川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系川間川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系川間川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県伊佐市大口川南地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	900m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	900m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	8,000	8,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系川間川は伊佐市に位置し流路延長 1. 0km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・川間川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系針持川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系針持川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系針持川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県伊佐市大口曾木地先～伊佐市大口針持地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1100m3		2200m3	
	令和 8 年度	1100m3		1100m3	
	令和 9 年度	1100m3		0m3	
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	3300m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	33,000	33,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系針持川は伊佐市に位置し流路延長 1 0 . 5 km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・針持川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3 . 3 km3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3 . 3 km3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1 ～ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 川内川水系白木川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	川内川水系白木川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する川内川水系白木川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県伊佐市大口白木地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	16, 000	16, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・川内川水系白木川は伊佐市に位置し流路延長 7. 5 km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・白木川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 神ノ川水系神ノ川（2 級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	神ノ川水系神ノ川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する神ノ川水系神ノ川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県錦江町神川地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	13, 000	13, 000	0	
	令和 8 年度	19, 000	19, 000	0	
	令和 9 年度	19, 000	19, 000	0	
	令和 1 0 年度	19, 000	19, 000	0	
	令和 1 1 年度	19, 000	19, 000	0	
	計	89, 000	89, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・神ノ川水系神ノ川は錦江町に位置し流路延長 1 0. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・神ノ川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 本城川水系本城川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	本城川水系本城川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する本城川水系本城川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県垂水市本城地先～垂水市高城地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	19,000	19,000	0	
	令和 8 年度	18,000	18,000	0	
	令和 9 年度	18,000	18,000	0	
	令和 1 0 年度	18,000	18,000	0	
	令和 1 1 年度	18,000	18,000	0	
	計	91,000	91,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・本城川水系本城川は垂水市に位置し流路延長 1 1. 7 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・本城川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 広瀬川水系広瀬川（２級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	広瀬川水系広瀬川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する広瀬川水系広瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県肝属郡肝付町南方地先～肝付町南方地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（５年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	12, 000	12, 000	0	
	令和 8 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 9 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 1 0 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 1 1 年度	18, 000	18, 000	0	
	計	84, 000	84, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・広瀬川水系広瀬川は肝属郡肝付町に位置し流路延長 4. 0kmの２級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・広瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 肝属川水系始良川（1 級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	肝属川水系始良川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する肝属川水系始良川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県鹿屋市吾平町麓～吾平町麓 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 1 年度	11,000	11,000	0	
	計	55,000	55,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・肝属川水系始良川は鹿屋市に位置し流路延長 6. 8 km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・始良川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 肝属川水系苫野川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	肝属川水系苫野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する肝属川水系苫野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県鹿屋市吾平町上名～鹿屋市吾平町下名 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	9000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	3000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	11000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 9 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 0 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 1 年度	11, 000	11, 000	0	
	計	60, 000	60, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・肝属川水系苫野川は鹿屋市に位置し流路延長 5. 3km の 1 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・苫野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 1. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 1. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1 ～ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 久保田川水系久保田川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	久保田川水系久保田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する久保田川水系久保田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県肝付町岸良～肝付町岸良 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 9 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 0 年度	20, 000	20, 000	0	
	令和 1 1 年度	20, 000	20, 000	0	
	計	96, 000	96, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・久保田川水系久保田川は肝付町岸良に位置し流路延長 7. 8 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・久保田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1 0. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 菱田川水系堂簗川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	菱田川水系堂簗川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する菱田川水系堂簗川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県鹿屋市輝北町下百引～鹿屋市輝北町上百引 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	6000m3		
	令和 9 年度	2000m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	2000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	10000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 1 年度	11,000	11,000	0	
	計	55,000	55,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・菱田川水系堂簗川は鹿屋市に位置し流路延長 8.7 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・堂簗川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 0.0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 0.0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 肝属川水系中山川 (1 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	肝属川水系中山川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する肝属川水系中山川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県鹿屋市串良町有里～肝属郡肝付町宮下 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	6000m3		
	令和 9 年度	1500m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	9000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	21, 000	21, 000	0	
	令和 8 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 9 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 0 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 1 年度	11, 000	11, 000	0	
	計	65, 000	65, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・肝属川水系中山川は鹿屋市串良町～肝属郡肝付町に位置し流路延長 5. 9 km の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・中山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 9. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、9. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 肝属川水系串良川（１級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	肝属川水系串良川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する肝属川水系串良川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県鹿屋市下高隈～肝属郡東串良町 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（５年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	8000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	6000m3		
	令和 9 年度	1500m3	4000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	8000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 9 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 0 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 1 1 年度	11, 000	11, 000	0	
	計	60, 000	60, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・肝属川水系串良川は鹿屋市下高隈町～肝属郡東串良町に位置し流路延長 1 0 . 0 km の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・串良川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8 . 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、8 . 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 神ノ川水系神ノ川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	神ノ川水系神ノ川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する神ノ川水系神ノ川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県肝属郡錦江町壱崎地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3		5000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	2000m3		3000m3	
	令和 9 年度	1000m3		1000m3	
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	5000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	26,500	26,500	0	
	令和 8 年度	26,500	26,500	0	
	令和 9 年度	15,000	15,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	68,000	68,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・神ノ川水系神ノ川は錦江町に位置し流路延長 1 0 . 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・神ノ川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5 . 0 km3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5 . 0 km3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 菱田川水系梅ヶ渡川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	菱田川水系梅ヶ渡川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する菱田川水系梅ヶ渡川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県鹿屋市市輝北町諏訪原～輝北町諏訪原 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	6500m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	5000m3		
	令和 9 年度	1500m3	3500m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	2000m3	0m3		
	計	8000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 1 年度	11,000	11,000	0	
	計	55,000	55,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・菱田川水系梅ヶ渡川は鹿屋市に位置し流路延長 1 9. 4 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・梅ヶ渡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、8. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 雄川水系馬場川 (2 級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	雄川水系馬場川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する雄川水系馬場川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県鹿児島県南大隅町尾野上地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	2000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	1000m3		
	令和 9 年度	1000m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	5000m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	44, 000	44, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・雄川水系馬場川は南大隅町に位置し流路延長 1. 0 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・馬場川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水期中 (随時), 出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 河崎水系河崎川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	河崎水系河崎川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する河崎川水系河崎川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県垂水市市木～垂水市上市木 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2000m3	3000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2000m3	1000m3		
	令和 9 年度	1000m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	5000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16,000	16,000	0	
	令和 8 年度	15,000	15,000	0	
	令和 9 年度	15,000	15,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	46,000	46,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・河崎水系河崎川は垂水市に位置し流路延長 2.5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・河崎川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5.0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5.0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 田原川水系持留川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	田原川水系持留川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する田原川水系持留川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於郡大崎町持留～大崎町持留 ほか2箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	6000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	4500m3		
	令和 9 年度	1500m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	1500m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	7500m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	22, 000	22, 000	0	
	令和 8 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 9 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 1 0 年度	18, 000	18, 000	0	
	令和 1 1 年度	18, 000	18, 000	0	
	計	94, 000	94, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 田原川水系持留川は曾於郡に位置し流路延長 9. 2 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 持留川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・ 施設点検等 : 出水期後 (10月) ・ 測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大淀川水系庄内川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大淀川水系庄内川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大淀川水系庄内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県曾於市財部町下財部~曾於市財部町下財部 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度~令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	500m3	3200m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	800m3	2400m3		
	令和 9 年度	800m3	1600m3		
	令和 1 0 年度	800m3	800m3		
	令和 1 1 年度	800m3	0m3		
	計	3700m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	46, 000	46, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大淀川水系庄内川は曾於市に位置し流路延長 2. 9 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・庄内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3. 7 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度~令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、3. 7 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 安楽川水系安楽川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	安楽川水系安楽川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する安楽川水系安楽川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県志布志市志布志町安楽～志布志市志布志町安楽 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3	4800m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1200m3	3600m3		
	令和 9 年度	1200m3	2400m3		
	令和 1 0 年度	1200m3	1200m3		
	令和 1 1 年度	1200m3	0m3		
	計	6000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 1 年度	11,000	11,000	0	
	計	55,000	55,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・安楽川水系安楽川は志布志市に位置し流路延長 2 7. 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・安楽川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、6. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 菱田川水系二瀬元川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	菱田川水系二瀬元川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する菱田川水系二瀬元川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於市中州田木～鹿児島県曾於市中州田木 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1500m3		0m3	
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	13, 000	13, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	13, 000	13, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・菱田川水系二瀬元川は曾於市に位置し流路延長 2. 6 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・二瀬元川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 田原川水系田原川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	田原川水系田原川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する田原川水系田原川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曽於市大崎町井俣～志布志市志布志町野神 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	6000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	4500m3		
	令和 9 年度	1500m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	1500m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	7500m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16,000	16,000	0	
	令和 8 年度	16,000	16,000	0	
	令和 9 年度	16,000	16,000	0	
	令和 1 0 年度	16,000	16,000	0	
	令和 1 1 年度	16,000	16,000	0	
	計	80,000	80,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・田原川水系田原川は曽於市に位置し流路延長 1 4 . 7 km の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・田原川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7 . 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7 . 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大淀川水系大淀川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大淀川水系大淀川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大淀川水系大淀川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於市末吉町麓～曾於市末吉町後迫 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1300m3	4700m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1200m3	3500m3		
	令和 9 年度	1200m3	2300m3		
	令和 1 0 年度	1200m3	1100m3		
	令和 1 1 年度	1100m3	0m3		
	計	6000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 9 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 0 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 1 年度	14, 000	14, 000	0	
	計	75, 000	75, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大淀川水系大淀川は曾於市に位置し流路延長 1 8 . 3 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大淀川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6 . 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、6 . 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 安楽川水系森山川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	安楽水系森山川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する安楽川水系森山川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県志布志市志布志町内之倉～志布志市志布志町内之倉 ほかに 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度（3 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	300m3		1000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	500m3		500m3	
	令和 9 年度	500m3		0m3	
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1300m3		0m3	
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	2,000	2,000	0	
	令和 8 年度	4,000	4,000	0	
	令和 9 年度	4,000	4,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	10,000	10,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・安楽川水系森山川は志布志市に位置し流路延長 5. 8 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・森山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 3 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 3 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大淀川水系谷川内川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大淀川水系谷川内川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大淀川水系谷川内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於市財部町谷川内～曾於市財部町谷川内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	500m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	500m3		0m3	
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6,000	6,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	6,000	6,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大淀川水系谷川内川は曾於市に位置し流路延長 6. 5 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・谷川内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 5 km3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 5 km3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 菱田川水系菱田川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	菱田川水系菱田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する菱田川水系菱田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於郡大崎町菱田地先～志布志市有明町伊崎田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3	6000m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	4500m3		
	令和 9 年度	1500m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	1500m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	9000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	21, 000	21, 000	0	
	令和 8 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 9 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 0 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 1 年度	15, 000	15, 000	0	
	計	81, 000	81, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・菱田川水系菱田川は曾於郡に位置し流路延長 2 9 . 2 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・菱田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 9 . 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、9 . 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 菱田川水系月野川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	菱田水系月野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する菱田水系月野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曽於市大隅町月野～曽於市大隅町月野 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1200m3	4800m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1200m3	3600m3		
	令和 9 年度	1200m3	2400m3		
	令和 1 0 年度	1200m3	1200m3		
	令和 1 1 年度	1200m3	0m3		
	計	6000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	28, 000	28, 000	0	
	令和 8 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 9 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 0 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 1 年度	15, 000	15, 000	0	
	計	88, 000	88, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・菱田川水系月野川は曽於市に位置し流路延長 2 1 . 2 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・月野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6 . 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、6 . 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1～2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大淀川水系溝之口川 (一級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大淀川水系溝之口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大淀川水系溝之口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県曾於市財部町下財部～曾於市財部町下財部 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分 第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	900m3		0m3	
	令和 8 年度			0m3	
	令和 9 年度			0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	900m3		0m3	
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11, 000	11, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大淀川水系溝之口川は曾於市に位置し流路延長 1 1 . 3 kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・溝之口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0 . 9 km3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0 . 9 km3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 鹿鳴川水系鹿鳴川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	鹿鳴川水系鹿鳴川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する鹿鳴川水系鹿鳴川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町中之下地先～南種子町中之下地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1400m3	5590m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1400m3	4190m3		
	令和 9 年度	1400m3	2790m3		
	令和 1 0 年度	1400m3	1390m3		
	令和 1 1 年度	1390m3	0m3		
	計	6990m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	55, 000	55, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・鹿鳴川水系鹿鳴川は南種子町に位置し流路延長 5. 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・鹿鳴川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6. 9 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 6. 9 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大浦川水系大浦川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大浦川水系大浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大浦川水系大浦川の堆積土砂掘削及び樹木伐採を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町平地先～南種子町平地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載				残量	
	令和 7 年度	800m3		1600m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	800m3		800m3	
	令和 9 年度	800m3		0m3	
	令和 1 0 年度			0m3	
	令和 1 1 年度			0m3	
	計	2400m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	31, 000	31, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大浦川水系大浦川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長 5. 0km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2. 4 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 2. 4 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大浦川水系大浦川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大浦川水系大浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大浦川水系大浦川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡中種子町熊野地先～中種子町熊野地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分 第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際と異なる場合がある。
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3000m3		12000m3	
	令和 8 年度	3000m3		9000m3	
	令和 9 年度	3000m3		6000m3	
	令和 1 0 年度	3000m3		3000m3	
	令和 1 1 年度	3000m3		0m3	
	計	15000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	51, 000	51, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大浦川水系大浦川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長5. 0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は1 5. 0千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ1 5. 0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等：出水期後 (10月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 向井川水系向井川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	向井川水系向井川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する向井川水系向井川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡中種子町向井町地先～中種子町向井町地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	600m3	0m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度		0m3		
	令和 9 年度		0m3		
	令和 1 0 年度		0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	600m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 向井川水系向井川は中種子町に位置し流路延長 3. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 向井川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等：出水期後 (10 月) ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 郡川水系郡川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	郡川水系郡川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する郡川水系郡川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町郡原地先～南種子町郡原地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	700m3	3200m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	800m3	2400m3		
	令和 9 年度	800m3	1600m3		
	令和 1 0 年度	800m3	800m3		
	令和 1 1 年度	800m3	0m3		
	計	3900m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	9, 000	9, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	49, 000	49, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 郡川水系郡川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長 6. 5km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 郡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 3. 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 3. 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等：出水期後 (10 月) ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 西京川水系西京川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	西京川水系西京川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する西京川水系西京川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県西之表市伊閑地先～西之表市伊閑地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	700m3	0m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度		0m3		
	令和 9 年度		0m3		
	令和 1 0 年度		0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	700m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・西京川水系西京川は西之表市に位置し流路延長 3. 3 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・西京川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 7 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 0. 7 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大浦川水系大浦川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大浦川水系大浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大浦川水系大浦川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町水牛地先～南種子町水牛地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	600m3	2400m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	600m3	1800m3		
	令和 9 年度	600m3	1200m3		
	令和 1 0 年度	600m3	600m3		
	令和 1 1 年度	600m3	0m3		
	計	3000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	51, 000	51, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大浦川水系大浦川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長5. 0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は3. 0千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ3. 0千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等：出水期後 (10月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 阿嶽川水系阿嶽川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	阿嶽川水系阿嶽川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する阿嶽川水系阿嶽川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町郡原地先～南種子町郡原地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1600m3	3450m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1700m3	1750m3		
	令和 9 年度	1750m3	0m3		
	令和 1 0 年度		0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	5050m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	9,000	9,000	0	
	令和 9 年度	9,000	9,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	29,000	29,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・阿嶽川水系阿嶽川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長 4.5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・阿嶽川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5,050 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 5,050 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 熊野川水系熊野川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	熊野川水系熊野川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する熊野川水系熊野川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡中種子町坂井地先～中種子町坂井地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	510m3	1020m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	510m3	510m3		
	令和 9 年度	510m3	0m3		
	令和 1 0 年度		0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	1530m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	9,000	9,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	25,000	25,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・熊野川水系熊野は中種子町に位置し流路延長 5. 1 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・熊野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 5 3 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 1. 5 3 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 宮瀬川水系宮瀬川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	宮瀬川水系宮瀬川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する宮瀬川水系宮瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県熊毛郡南種子町茎永地先～南種子町茎永地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	820m3	1640m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	820m3	820m3		
	令和 9 年度	820m3	0m3		
	令和 1 0 年度		0m3		
	令和 1 1 年度		0m3		
	計	2460m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	9,000	9,000	0	
	令和 9 年度	9,000	9,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	29,000	29,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・宮瀬川水系宮瀬川は熊毛郡南種子町に位置し流路延長3.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・宮瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は2,460m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ2,460m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等：出水期後 (10月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 甲女川水系甲女川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	甲女川水系甲女川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する甲女川水系甲女川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫箇所：鹿児島県西之表市岳之田地先～西之表市岳之田地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)			土質区分	
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1900m3	3800m3	第 2 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	950m3	2850m3		
	令和 9 年度	950m3	1900m3		
	令和 1 0 年度	950m3	950m3		
	令和 1 1 年度	950m3	0m3		
	計	5700m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	22, 000	22, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	62, 000	62, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 甲女川水系甲女川は西之表市に位置し流路延長 6. 5 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 甲女川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下断面が阻害されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5. 7 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ 5. 7 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・ 施設点検等：出水期後 (10 月) ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 永田川水系永田川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	永田川水系永田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する永田川水系永田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県熊毛郡屋久島町永田 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	4000m3		16000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	4000m3		12000m3	
	令和 9 年度	4000m3		8000m3	
	令和 1 0 年度	4000m3		4000m3	
	令和 1 1 年度	4000m3		0m3	
	計	20000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	16, 000	16, 000	0	
	令和 8 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 9 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 0 年度	15, 000	15, 000	0	
	令和 1 1 年度	15, 000	15, 000	0	
	計	76, 000	76, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・永田川水系永田川は屋久島町に位置し流路延長 2. 3 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・永田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 0. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2 0. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 一湊川水系一湊川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	一湊川水系一湊川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する一湊川水系一湊川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	3200m3	18000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	4500m3	13500m3		
	令和 9 年度	4500m3	9000m3		
	令和 1 0 年度	4500m3	4500m3		
	令和 1 1 年度	4500m3	0m3		
	計	21200m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	46, 000	46, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・一湊川水系一湊川は屋久島町に位置し流路延長 4. 0 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・一湊川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 2 1. 2 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、2 1. 2 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 中間川水系中間川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	中間川水系中間川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する中間川水系中間川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県熊毛郡屋久島町中間 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	2200m3	8800m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	2200m3	6600m3		
	令和 9 年度	2200m3	4400m3		
	令和 1 0 年度	2200m3	2200m3		
	令和 1 1 年度	2200m3	0m3		
	計	11000m3			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 0 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 1 年度	5,000	5,000	0	
	計	25,000	25,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 中間川水系中間川は屋久島町に位置し流路延長 0. 6 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 中間川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1 1. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 1. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・ 施設点検等 : 出水期後 (10月) ・ 測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 知名瀬川水系知名瀬川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	知名瀬川水系知名瀬川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する知名瀬川水系知名瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県奄美市知名瀬地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	700m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	700m3		0m3	
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・知名瀬川水系知名瀬川は奄美市に位置し流路延長 2. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・知名瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 7 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 7 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1~2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 戸口川水系戸口川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	戸口川水系戸口川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する戸口川水系戸口川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県龍郷町戸口地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	900m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	900m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11,000	11,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 戸口川水系戸口川は龍郷町に位置し流路延長 2. 0km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 戸口川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 9 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 9 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1~2 月) ・ 施設点検等：出水期後 (10 月) ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大和川水系大和川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大和川水系大和川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大和川水系大和川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡大和村大字思勝地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	720m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	720m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	7,000	7,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	7,000	7,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大和川水系大和川は大和村に位置し流路延長 2. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大和川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 7 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 7 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1~2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 小宿大川水系小宿大川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	小宿大川水系小宿大川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する小宿大川水系小宿大川の樹木伐採を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県奄美市名瀬小宿地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	(18, 000m2)		0m2	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	(18, 000m2)			
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11, 000	11, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・小宿大川水系小宿大川は奄美市に位置し流路延長 2. 3 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・小宿大川では、樹木繁茂により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の樹木伐採量は 1 8. 0 千 m2 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1 8. 0 千 m2 の樹木伐採を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水期中 (随時) , 出水期後 (1 ~ 2 月) ・施設点検等 : 出水期後 (10 月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載					

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 中勝川水系中勝川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	中勝川水系中勝川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する中勝川水系中勝川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県龍郷町中勝地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1100m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1100m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	11, 000	11, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 中勝川水系中勝川は龍郷町に位置し流路延長 2. 9 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 中勝川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 1 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 1 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視: 出水期中 (随時), 出水期後 (1~2 月) ・ 施設点検等: 出水期後 (10 月) ・ 測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 秋名川水系秋名川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	秋名川水系秋名川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する秋名川水系秋名川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県龍郷町幾里地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度 (1 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	600m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	600m3			
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4, 000	4, 000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	4, 000	4, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 秋名川水系秋名川は龍郷町に位置し流路延長 3. 6 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 秋名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 6 km3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 6 km3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視: 出水中 (随時), 出水期後 (1~2 月) ・ 施設点検等: 出水期後 (10 月) ・ 測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 嘉渡川水系嘉渡川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	嘉渡川水系嘉渡川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する嘉渡川水系嘉渡川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県龍郷町嘉渡地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度（１年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	620m3		0m3	
	令和 8 年度				
	令和 9 年度				
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	620m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	4,000	4,000	0	
	令和 8 年度	0		0	
	令和 9 年度	0		0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	4,000	4,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・嘉渡川水系嘉渡川は龍郷町に位置し流路延長 2. 0km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・嘉渡川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 0. 6 2 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度の 1 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、0. 6 2 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 河内川水系河内川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	河内川水系河内川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する河内川水系河内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 鹿児島県大島郡宇検村湯湾地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	5000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1000m3	4000m3		
	令和 9 年度	1000m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	1000m3	1000m3		
	計	5000m3	0m3		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	51, 000	51, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・河内川水系河内川は宇検村に位置し流路延長 3. 6 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・河内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等): 必要に応じて随時実施 ・河川巡視: 出水中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等: 出水期後 (10 月) ・測量・調査: 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 勝浦川水系勝浦川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	勝浦川水系勝浦川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する勝浦川水系勝浦川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡瀬戸内町勝浦地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1000m3	5000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1000m3	4000m3		
	令和 9 年度	1000m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1000m3	2000m3		
	令和 1 1 年度	1000m3	1000m3		
	計	5000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	51, 000	51, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・勝浦川水系勝浦川は瀬戸内町に位置し流路延長 2. 1 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・勝浦川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 5. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、5. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 河内川水系小勝川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	河内川水系小勝川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する河内川水系小勝川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡宇検村湯湾地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位 : m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	800m3	4000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	800m3	3200m3		
	令和 9 年度	800m3	2400m3		
	令和 1 0 年度	800m3	1600m3		
	令和 1 1 年度	800m3	800m3		
	計	4000m3	0m3		
予定事業費 (単位 : 千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	40,000	40,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・河内川水系小勝川は宇検村に位置し流路延長 1. 0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・小勝川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等) : 必要に応じて随時実施 ・河川巡視 : 出水中 (随時) , 出水期後 (1~2月) ・施設点検等 : 出水期後 (10月) ・測量・調査 : 必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 篠川川水系篠川川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	篠川川水系篠川川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する篠川川水系篠川川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡瀬戸内町篠川地内 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	800m3	4000m3	第 3 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	800m3	3200m3		
	令和 9 年度	800m3	2400m3		
	令和 1 0 年度	800m3	1600m3		
	令和 1 1 年度	800m3	800m3		
	計	4000m3	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	40,000	40,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・篠川川水系篠川川は瀬戸内町に位置し流路延長 1. 2 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・篠川川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 0 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 0 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 大瀬川水系大瀬川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	大瀬川水系大瀬川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する大瀬川水系大瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡徳之島町亀津地先～徳之島町亀津地先 ほか 1 箇所 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1800m3		4800m3	
	令和 8 年度	1200m3		3600m3	
	令和 9 年度	1200m3		2400m3	
	令和 1 0 年度	1200m3		1200m3	
	令和 1 1 年度	1200m3		0m3	
	計	6600m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	13,000	13,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	45,000	45,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・大瀬川水系大瀬川は徳之島町に位置し流路延長 2. 1km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6. 6 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、6. 6 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 真瀬名川水系真瀬名川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	真瀬名川水系真瀬名川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する真瀬名川水系真瀬名川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡天城町平土地先～天城町平土地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1, 750m3		7, 000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	1, 750m3		5, 250m3	
	令和 9 年度	1, 750m3		3, 500m3	
	令和 1 0 年度	1, 750m3		1, 750m3	
	令和 1 1 年度	1, 750m3		0m3	
	計	8, 750m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	7, 000	7, 000	0	
	令和 8 年度	7, 000	7, 000	0	
	令和 9 年度	7, 000	7, 000	0	
	令和 1 0 年度	7, 000	7, 000	0	
	令和 1 1 年度	7, 000	7, 000	0	
	計	35, 000	35, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・真瀬名川水系真瀬名川は大島郡天城町に位置し流路延長 3. 6kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・真瀬名川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 8. 7 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、8. 7 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 面縄川水系面縄川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	面縄川水系面縄川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する面縄川水系面縄川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡伊仙町面縄地先～伊仙町面縄地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	800m3		3200m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	800m3		2400m3	
	令和 9 年度	800m3		1600m3	
	令和 1 0 年度	800m3		800m3	
	令和 1 1 年度	800m3		0m3	
	計	4000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	3,500	3,500	0	
	令和 8 年度	3,500	3,500	0	
	令和 9 年度	3,500	3,500	0	
	令和 1 0 年度	3,500	3,500	0	
	令和 1 1 年度	3,500	3,500	0	
	計	17,500	17,500	0	
事業の必要性、 緊急性	・面縄川水系面縄川は伊仙町に位置し流路延長 4. 7 km の 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・面縄川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 亀徳川水系亀徳川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	亀徳川水系亀徳川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する亀徳川水系亀徳川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡徳之島町亀徳地先～徳之島町亀徳地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	6000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	4500m3		
	令和 9 年度	1500m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	1500m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	7500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11, 000	11, 000	0	
	令和 8 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 9 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 0 年度	10, 000	10, 000	0	
	令和 1 1 年度	10, 000	10, 000	0	
	計	51, 000	51, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・ 亀徳川水系亀徳川は徳之島町に位置し流路延長 3. 5 kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・ 亀徳川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・ 令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 5 千m3であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・ 令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 5 千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・ 基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・ 河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・ 施設点検等：出水期後 (10月) ・ 測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・ 掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・ 発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・ 掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 湾屋川水系湾屋川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	湾屋川水系湾屋川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する湾屋川水系湾屋川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡天城町浅間地先～天城町浅間地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	1, 200m3	4, 800m3		
	令和 8 年度	1, 200m3	3, 600m3		
	令和 9 年度	1, 200m3	2, 400m3		
	令和 1 0 年度	1, 200m3	1, 200m3		
	令和 1 1 年度	1, 200m3	0m3		
	計	6, 000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 8 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 9 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 0 年度	5, 000	5, 000	0	
	令和 1 1 年度	5, 000	5, 000	0	
	計	25, 000	25, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・湾屋川水系湾屋川は大島郡天城町に位置し流路延長 2. 2 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・湾屋川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 6. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、6. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2 月） ・施設点検等：出水期後（10 月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添１)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画（河川）					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 万田川水系万田川（二級河川）					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	万田川水系万田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所（所在地）)	鹿児島県が管理する万田川水系万田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡徳之島町花徳地先～徳之島町花徳地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度（ 5 年間）				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	1500m3	6000m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 8 年度	1500m3	4500m3		
	令和 9 年度	1500m3	3000m3		
	令和 1 0 年度	1500m3	1500m3		
	令和 1 1 年度	1500m3	0m3		
	計	7500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	8,000	8,000	0	
	令和 8 年度	8,000	8,000	0	
	令和 9 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 0 年度	8,000	8,000	0	
	令和 1 1 年度	8,000	8,000	0	
	計	40,000	40,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・万田川水系万田川は大島郡徳之島町に位置し流路延長 5. 5 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・万田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集（水位・雨量・流量等）：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中（随時）、出水期後（1～2月） ・施設点検等：出水期後（10月） ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 港川水系港川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	港川水系港川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する港川水系港川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡天城町松原地先～天城町松原地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	1, 500m3	6, 000m3		
	令和 8 年度	1, 500m3	4, 500m3		
	令和 9 年度	1, 500m3	3, 000m3		
	令和 1 0 年度	1, 500m3	1, 500m3		
	令和 1 1 年度	1, 500m3	0m3		
	計	7, 500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 8 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 9 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 1 0 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 1 1 年度	6, 000	6, 000	0	
	計	30, 000	30, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・港川水系港川は大島郡天城町に位置し流路延長 2. 2 kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・港川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2月) ・施設点検等：出水期後 (10月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 下田川水系下田川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	下田川水系下田川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する下田川水系下田川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡徳之島町花徳地先～徳之島町花徳地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量		
	令和 7 年度	800m3		3200m3	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。
	令和 8 年度	800m3		2400m3	
	令和 9 年度	800m3		1600m3	
	令和 1 0 年度	800m3		800m3	
	令和 1 1 年度	800m3		0m3	
	計	4000m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	5,000	5,000	0	
	令和 8 年度	5,000	5,000	0	
	令和 9 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 0 年度	5,000	5,000	0	
	令和 1 1 年度	5,000	5,000	0	
	計	25,000	25,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・下田川水系下田川は徳之島町に位置し流路延長 3. 8 kmの 2 級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・下田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 4. 0 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、4. 0 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 南川水系南川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	南川水系南川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する南川水系南川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡天城町岡前地先～天城町岡前地先 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 1 1 年度 (5 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 1 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	1, 500m3	6, 000m3		
	令和 8 年度	1, 500m3	4, 500m3		
	令和 9 年度	1, 500m3	3, 000m3		
	令和 1 0 年度	1, 500m3	1, 500m3		
	令和 1 1 年度	1, 500m3	0m3		
	計	7, 500m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 8 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 9 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 1 0 年度	6, 000	6, 000	0	
	令和 1 1 年度	6, 000	6, 000	0	
	計	30, 000	30, 000	0	
事業の必要性、 緊急性	・南川水系南川は大島郡天城町に位置し流路延長 2. 0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・南川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 7. 5 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 1 1 年度の 5 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、7. 5 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				

(別添 1)

令和 7 年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)					
都 道 府 県 名 鹿児島県					
河 川 名 余多川水系余多川 (二級河川)					
担 当 課 室 名 河川課防災海岸係 緒方					
連 絡 先 099-286-3593					
事業名	余多川水系余多川緊急浚渫推進事業				
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	鹿児島県が管理する余多川水系余多川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所：鹿児島県大島郡知名町余多～知名町久志検 【別図参照】				
実施予定期間	令和 7 年度～令和 9 年度 (3 年間)				土質区分
予定事業量 (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載			残量	第 4 種建設発生土 ※目視による見込みであり、 実際と異なる場合がある。	
	令和 7 年度	600m3	1200m3		
	令和 8 年度	600m3	600m3		
	令和 9 年度	600m3	0m3		
	令和 1 0 年度				
	令和 1 1 年度				
	計	1800m3			
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源	
	令和 7 年度	11,000	11,000	0	
	令和 8 年度	11,000	11,000	0	
	令和 9 年度	11,000	11,000	0	
	令和 1 0 年度	0		0	
	令和 1 1 年度	0		0	
	計	33,000	33,000	0	
事業の必要性、 緊急性	・余多川水系余多川は沖永良部島の南西部に位置し流路延長 4. 1 km の二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・余多川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和 7 年度現在、河道内の土砂堆積量は 1. 8 千 m3 であり、早期の流下断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。				
浚渫目標	・令和 7 年度～令和 9 年度の 3 年間で、河川環境の保全等に配慮しつつ、1. 8 千 m3 の堆積土砂掘削を行い、河道における目標河道断面を確保する。				
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量・流量等)：必要に応じて随時実施 ・河川巡視：出水期中 (随時)、出水期後 (1～2 月) ・施設点検等：出水期後 (10 月) ・測量・調査：必要に応じて随時実施				
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・掘削した土砂等については、資源活用の観点から公共工事等への活用を図る予定。 ・発生土砂量については、現時点の予定であり今後変更があり得る。 ・掘削時に護岸等の状況を調査し対策が必要な場合は随時対策を行う。				